

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に	所管	まちづくり計画部 建築指導課
			Tel 2998-9180

事業の目的 (何の為に 行うか)	高齢者・身体障害者等の日常生活に身体の機能上の制限を受ける人が、円滑に利用できる建築物の建設促進のための措置を講じ、建築物の質の向上を図る。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	2000㎡以上の不特定多数の人が利用する建築物(例:病院・百貨店等)	対象とした数	43	件
		実際に 利用した数	12	件

活動の内容	(何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・百貨店等不特定多数の人が利用する2,000㎡以上の建築物に適用され、書類審査並びに完了検査による認定を行う。</li> <li>・不特定かつ多数の人が利用する小規模建物(例:コンビニ・クリーニング取次店等)のバリアフリーの整備などについて指摘及び助言を行う。</li> </ul>							
		活動実績	項目名	福祉のまちづくり条例受付件数	43	単位	項目名	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律認定件数	0

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	164	170	6,370	18.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	適合率	適合件数/申請件数	30	28	93.3
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 [ ]				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	060400	TEL	2998-9180
事業コード	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に係る事務					
060402	まちづくり計画部 建築指導課					
開始年度		平成 6 年度	—	終了年度	平成 年度	
開始年度		平成 6 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	なし			高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律・埼玉県福祉のまちづくり条例				
	関連・類似事業	なし							
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	1節 環境との共生	中柱	2 魅力ある都市環境の整備	小柱	(2)人によさしいまちづくりの推進
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 17 位			・実施計画における位置づけ…  H19 ***   H20 ***				
事業開始の背景	高齢者・身体障害者の自立と積極的な社会参加のため、不特定多数の者が利用する公共的性格を有する建築物を、高齢者や身体障害者等が円滑に利用できるように措置していく必要がある。このため、建築主への指導・誘導等の措置を講じ、良質な建築物の形成を図ることとした。								

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)	高齢者・身体障害者等の日常生活に身体機能上の制限を受ける人が、円滑に利用できる建築物の建設促進のための措置を講じ、建築物の質の向上を図る。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方				2000㎡以上の不特定多数の人が利用する適合建築物				
	対象数	単位	平成 18 年度	55 件	平成 19 年度	43 件	平成 18 年度	14 件	平成 19 年度	12 件
	事業の具体的な内容及び実施方法									
	・百貨店等不特定多数の人が利用する2,000㎡以上の建築物に適用され、書類審査並びに完了検査による認定を行う。 ・不特定かつ多数の人が利用する小規模建物(例:コンビニ・クリーニング取次店等)のバリアフリーの整備などについて指摘及び助言を行う。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
	平成19年度中に改善した点 特になし		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		201	164	171
	決算 (見込み含む)		127	170	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 ) ( 人 ) ( 人 )			
	正規職員人件費		0.69 人 6,348	0.66 人 6,200	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		6,475	6,370	
	財源内訳	一般財源	6,475	6,370	171
	国・県支出金				
	受益者負担金				
市債					
その他					
市民一人当たり(単位:円)		19.2	18.8		
利用数一単位あたり(単位:円)		462,500.0	530,836.7		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	福祉のまちづくり条例受付件数	件	54	43			
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律認定件数	件	1	0			
	成果分析	適合率	適合件数/申請件数	%	目標値 30	30	30	30
					実績 25	28	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2   1	
				% 達成率 83.3	93.3			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	この事業は、福祉社会実現のために大切な事業であり、今後も推進していく。相談・指導を充実させるため研修会等に積極的に参加する。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	法が対象としていない小規模建築物についても、適合するよう指導する。	努力規定であるが、適合するよう指導をする。	平成21年3月	
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	評価理由	高齢者や身体障害者等にやさしいまちづくりを推進するために必要であり、より広く周知させる必要がある。			
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	建築指導課長 林田和夫		

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由							
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	272
	施策の体系	2-7環境に配慮したまちづくりの推進	施策の方向	2-7-2人によさしい施設の整備
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	3251   3273
	基本目標	3子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります	3子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります	
主要課題	2子育てに快適な環境づくり	2子育てに快適な環境づくり		
施策の方向	5子育てバリアフリーの推進	7安心して暮らせる環境の整備		